

2019 イースター歓迎礼拝のご案内

『 わたしは、よみがえりです。いのちです

わたしを信じる者は、死んでも生きるのです 』（聖書）

日時：4月21日（日）10:30~12:00

メッセージ：坂本 誠牧師（高崎福音キリスト教会牧師）

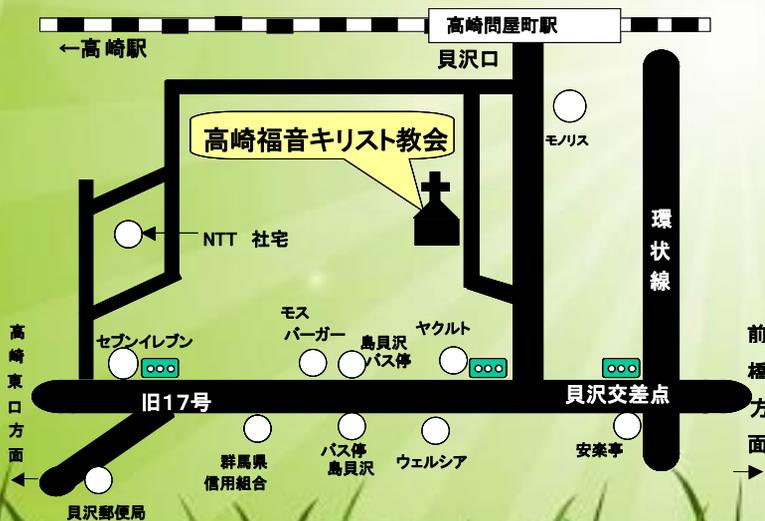
場所：高崎市貝沢町755-2 Tel: 027-362-1279

日本同盟基督教団 高崎福音キリスト教会

イースター（復活祭）は、十字架にかかって死なれたイエス・キリストが復活されたことを記念する日です。今年は、4月21日の日曜日になります。

キリスト教会が、毎週日曜日に礼拝という集まりを行うのは、キリストが復活されたのが日曜日であったからです。あなたも、日曜日に教会にいらっしゃいませんか。

このイエス・キリストについて、聖書からお話をします。



日本同盟基督教団 高崎福音キリスト教会
〒370-0042 高崎市貝沢町 755-2

Tel & Fax 027-362-1279

牧師 坂本 誠

ホームページ

<http://www.takasaki-gospel.org/>



から 「空の墓」

高崎福音キリスト教会 牧師 坂本 誠

主イエスの復活は歴史的事実か。これは、私達の信仰が事実か否かの決め手です。主の復活が作り話であれば私達の救いも作り話であり、歴史的事実であれば私達の救いも事実です。

弟子は復活を「(空の墓を) 見て、信じ」ました。

「空の墓」をどう説明したらよいのでしょうか。

1. イエスは仮死状態だった。死者の復活は非科学的、非合理的、迷信的で信じがたいと言う方々の主張です。しかし、以下の理由から認められない。
 - ①主の死は確実。使徒信条は当時の人々に向けて「十字架につけられ、死にて、葬られ、陰府(よみ)に降り、死者の中から」と言葉を連ねて死は確実と告げている。
 - ②主の死は敵方が確認した。
 - ③失神から立ち直ったとしても説明できないことが多い。主は脇腹を槍で刺され大量出血したが、治療は受けていない。両手両足に太い釘の穴が空き、三日三晩飲まず食わずで、瀕死の重傷を負った病み上がりの人が、怪力を振り絞って、墓の内側から「大きな墓石」を動かすことはまず不可能。主は十字架上で通常よりも短時間で死亡した。十字架刑を宣告した総督ピラトは死に至る時間の短さに驚いている。
2. 弟子達が主の遺体を盗んだ。これはありえない。
 - ①彼らは墓が空のことに驚いている。
 - ②彼らは主の十字架を前にして恐怖と絶望により逃亡した。ペテロは三度、主を否定した。彼らが勇気を出して遺体を盗み出すことは考えられない。
 - ③弟子達は後に主の復活を福音の中心に据え、殉教覚悟で宣教した。自分達が遺体を盗んだのなら、復活が嘘と知りつつ命を懸けたことになる。人は真理に命を懸けることはあっても、始めから嘘だと知っていることに命を懸けるだろうか。
 - ④聖書によれば復活を作り話としたのは処刑した側だった。
3. ローマ兵が主の遺体を盗んだ。これこそありえない。兵士は大ローマ帝国の総督ピラトの命令により、「墓の番をし、弟子達に盗まれないように警戒し、墓に封印をして」いた。このような状況下で兵士がイエスの遺体を盗むことには何の利得もない。
4. 第三者が盗んだ。主の遺体を盗むことには何の利得もない。主はローマに対しては政治犯、ユダヤに対しては呪われた異端として処刑された。もし、第三者が主の遺体を盗むなら、自分もイエスの仲間として目を付けられてしまう。そうまでして、イエスの遺体に執着する理由はない。

結論：空の墓の最も合理的で科学的な説明は「主は復活した」であり、私達は自信をもって復活を確信してよい。私達の墓もいつか空になる日を迎える！

＜集会案内＞

- ・礼拝 毎週日曜日
10:30～12:00
 - ・ハレルヤキッズ(子供向け)
毎週日曜日
9:00～10:00
 - ・聖書の学びと祈り会
毎週木曜日
10:30～
19:30～
 - ・聖書の学び会
毎月第4火曜日
10:30～
- どなたでもご自由にいらしてください